2025 年 6 月現在

経歴および著書・発表論文等

1. 氏名　南風原朝和（Haebara, Tomokazu）

2. 生年月　1953年12月

3. 学歴

1972年3月	琉球政府立那覇高等学校 卒業
1972年4月	東京工業大学工学部第四類 入学
1972年9月	同 中途退学
1973年4月	東京大学教養学部理科二類 入学
1977年3月	同 教育学部教育心理学科 卒業
1977年4月	同 大学院教育学研究科教育心理学専攻修士課程 入学
1978年9月	アイオワ大学大学院教育学研究科教育心理･測定･統計学専攻 編入学
1979年12月	同 修士課程 修了（M.A.取得）
1981年12月	同 博士課程 修了（Ph.D.取得）

4. 職歴

1978年6月	アイオワ大学 Iowa Testing Programs 研究助手
1982年1月	同 博士研究員
1982年9月	新潟大学教育学部講師
1983年10月	新潟大学教育学部助教授
1993年10月	東京大学教育学部助教授
1995年4月	東京大学大学院教育学研究科助教授
1995年4月	東京大学総長補佐（-1996年3月）
2002年4月	東京大学大学院教育学研究科教授（-2019年3月）
2008年4月	東京大学教育学部附属中等教育学校長（-2010年3月）
2013年4月	東京大学大学院教育学研究科長・教育学部長（-2015年3月）
2015年4月	東京大学理事・副学長（-2017年3月）
2017年4月	東京大学高大接続研究開発センター長（-2019年3月）
2019年4月	広尾学園中学校・高等学校長（-現在）
2019年4月	環太平洋大学次世代教育学部特命教授（-現在）
2019年6月	東京大学名誉教授（-終身）

5. 非常勤講師等

放送教育開発センター研究開発部客員助教授（1984, 1985, 1989-1990）

東京大学大学院教育学研究科（1988-1989）
琉球大学法文学部（1988, 1990）
横浜国立大学教育学部（1992）
金沢大学教育学部（1993, 2002, 2004）
学習院大学文学部（1995-2002）
慶應義塾大学大学院社会学研究科（1995, 1997, 2000, 2012）
岡山大学教育学部（1997）
東京女子大学文理学部（1997）
東京都立大学大学院人文科学研究科（1998）
名古屋大学教育学部／大学院教育学研究科（1999）
九州大学教育学部（2000）
お茶の水女子大学文教育学部／生活科学部（2001-2007）
金沢大学文学部（2002, 2004）
放送大学客員教授（2002-2008）
早稲田大学大学院文学研究科（2005）
大阪大学人間科学部／大学院人間科学研究科（2010）
横浜国立大学大学院教育学研究科（2010-2012）

6. 所属学会

日本教育心理学会
　テクニカルレポート企画検討小委員会委員（1988）
　フォーラムレポート委員会委員（1989-1998, 1995-1998(委員長)）
　『教育心理学研究』常任編集委員（1993-2001, 2007-2009, 2010-2012(副委員長),
　　2019-現在（2020 年 1 月からは「編集委員」と統合））
　城戸奨励賞選考委員（1995, 1999, 2010-2012(委員長)）
　研究委員会委員（1995-1997）
　常任理事（2000-2003(事務局長), 2006-2012）
　優秀論文賞選考委員（2003, 2007, 2009）
　理事長（2012-2013）
　＜以下，一般社団法人化（2013 年）後＞
　理事（2013-2019, 2021-現在）
　理事長（2013-2017, 2023-2025）
　事務局長（2019-2023, 2025-現在）
日本心理学会
　編集委員（1999-2003）
　優秀論文賞選考委員（2006-2008）
　理事（2015-2017）
日本行動計量学会
　欧文誌編集委員（1997-2000）

理事（2006-2009，2012-2024）
日本テスト学会
理事（2005-現在）
副理事長（2014-2020）
理事長（2020-2023）

7. 学会以外の委員・役員等（2015 年以降分）

文部科学省 高大接続システム改革会議委員（2015 年 2 月-2016 年 3 月）
独立行政法人 大学入試センター
運営審議会委員（2015 年 4 月-2017 年 3 月）
今後の研究開発戦略の策定に向けた有識者懇談会委員（2019 年 9 月-2020 年 9 月）
研究開発部の活性化に向けた検討委員会委員（2020 年 11 月-2021 年 3 月）
一般財団法人 東京大学運動会
理事長（2017 年 4 月-2019 年 3 月）
顧問（2019 年 4 月-現在）
人事院 国家公務員採用試験（試験技法）試験専門委員（2017 年 4 月-現在）
杏林大学医学部教育評価委員（2018 年 6 月-2019 年 3 月）
学校法人 成女学園評議員（2018 年 6 月-2022 年 3 月）
学校法人 順心広尾学園理事（2019 年 4 月-現在）
公益財団法人 日本人事試験研究センター評議員（2019 年 6 月-現在）
文化庁 文化審議会国語分科会日本語教育小委員会（20期）「日本語能力の判定基準」等に関するワーキンググループ委員（2020年5月-2021年3月）
東京大学大学院新領域創成科学研究科環境学研究系専門評価委員会委員（2022 年 4 月-8 月）
学校法人 創志学園理事（2023 年 4 月-現在）
京都大学大学院教育学研究科・教育学部外部評価委員会委員（2024 年 7 月-10 月）
学校法人 金蘭会学園理事（2024 年 10 月-現在）

8. 論文査読

Behaviormetrika, *Japanese Psychological Research*, *Psychologia*, *Psychometrika*, 教育心理学研究，計量生物学，行動計量学，心理学研究，心理学評論，日本テスト学会誌

9. 受賞

Paul C. Packer Award（アイオワ大学，1980）
Howard R. Jones Achievement Award（アイオワ大学，1981）

日本テスト学会賞（日本テスト学会，2014）

10．著書・発表論文等

(A) 著書・訳書
(B) 論文・論説
(C) 学会発表等
(D) 報告書・辞典・書評・記事・講演動画等

(A) 著書・訳書

南風原朝和（1988）主成分分析（pp.29-42），因子分析（pp.43-56） 渡部 洋（編）心理・教育のための多変量解析法入門 基礎編 福村出版
南風原朝和（1989）応用統計 池田 央（編）統計ガイドブック 新曜社 pp.144-159.
芝 祐順・南風原朝和（1990）行動科学における統計解析法 東京大学出版会
南風原朝和（1991）項目反応理論の概要 芝 祐順（編）項目反応理論―理論と応用 東京大学出版会 pp.9-31.
子安増生・田中俊也・南風原朝和・伊東裕司（1992）教育心理学 有斐閣
南風原朝和（1992）授業能力の評価尺度を作る（pp.32-46），知能検査の因子構造をさぐる（pp.71-81） 渡部 洋（編）心理・教育のための多変量解析法入門 事例編 福村出版
南風原朝和（訳）（1992）テスト利用におけるバイアス 池田 央・藤田恵璽・柳井晴夫・繁桝算男（監訳）教育測定学 みくに出版 pp.283-310.
南風原朝和（1998）心理測定学と性格 詫摩武俊（監修）性格心理学ハンドブック 福村出版 pp.247-254.
南風原朝和（1998）実践の観点から見た因果モデル 豊田秀樹（編）共分散構造分析［事例編］―構造方程式モデリング 北大路書房 pp.195-199.
南風原朝和（2000）統計的分析と推論 大沢武志・芝 祐順・二村英幸（編）人事アセスメントハンドブック 金子書房 pp.411-452.
南風原朝和・市川伸一・下山晴彦（編）（2001）心理学研究法入門―調査・実験から実践まで 東京大学出版会
南風原朝和（2002）心理統計学の基礎―統合的理解のために 有斐閣
南風原朝和・市川伸一・下山晴彦（編）（2003）心理学研究法 放送大学教育振興会
南風原朝和（2003）統計法の適用と結果の解釈をめぐって 日本教育心理学会（編）教育心理学ハンドブック 有斐閣 pp.170-183.
子安増生・田中俊也・南風原朝和・伊東裕司（2003）教育心理学［新版］ 有斐閣
南風原朝和（2004）検査法 高野陽太郎・岡 隆（編）心理学研究法 有斐閣
南風原朝和（2005）心理学分野のキーワード 松原 望（編）統計学100のキーワード 弘文堂 pp.102-131.
南風原朝和（2005）統計学と心理学―個を重視する統計学の観点から 下山晴彦（編）心理学論の新しいかたち 誠信書房 pp.139-160.

三宅和夫・松見淳子・南風原朝和・高橋惠子（2008）座談会：縦断研究の課題　三宅和夫・高橋惠子（編）縦断研究の挑戦―発達を理解するために　金子書房　pp.197-226.
南風原朝和・平井洋子・杉澤武俊（2009）心理統計学ワークブック―理解の確認と深化のために　有斐閣
《紹介文》
http://yuhikaku-nibu.txt-nifty.com/blog/files/prof_haebara_mado0911.pdf
南風原朝和（2010）授業改革のふり返りと展望―全教員のアンケートから　東京大学教育学部附属中等教育学校（編）［新版］学び合いで育つ未来への学力―中高一貫教育のチャレンジ　明石書店　pp.196-201.
南風原朝和（2011）臨床心理学をまなぶ7　量的研究法　東京大学出版会
《紹介動画》https://www.youtube.com/watch?v=pVCsyR8-LbE
南風原朝和（2012）発達科学の心理統計　高橋惠子・湯川良三・安藤寿康・秋山弘子（編）発達科学入門［1］理論と方法　pp.239-253.
南風原朝和（2014）続・心理統計学の基礎―統合的理解を広げ深める　有斐閣
《書評》http://www.yuhikaku.co.jp/static/shosai_mado/html/1505/11.html
子安増生・田中俊也・南風原朝和・伊東裕司（2015）教育心理学［第3版］　有斐閣
南風原朝和（2017）検査法　高野陽太郎・岡 隆（編）心理学研究法［補訂版］　有斐閣
南風原朝和（2017）共通試験に求められるものと新テスト構想　東北大学高度教養教育・学生支援機構（編）高等教育ライブラリ12　大学入試における共通試験　東北大学出版会　pp.83-99.
http://www.p.u-tokyo.ac.jp/~haebara/Common_Test_2017.pdf
南風原朝和（編）（2018）検証 迷走する英語入試―スピーキング導入と民間委託　岩波ブックレット，No.984　岩波書店
《紹介文》https://www.u-tokyo.ac.jp/biblioplaza/ja/D_00170.html
南風原朝和（2020）共通試験に求められるものと新テスト構想　倉元直樹（編）大学入試センター試験から大学入学共通テストへ　金子書房　pp.72-88.（2017年に東北大学出版会の『大学入試における共通試験』に掲載された章の採録）
南風原朝和（2023）大学入試改革元年の受験生たちとの対話　久保沙織（編）再考 大学入試改革の論理　金子書房　pp.37-54.
大津由紀雄・南風原朝和（編）（2023）高校入試に英語スピーキングテスト？―東京都の先行事例を徹底検証　岩波ブックレット，No.1085　岩波書店

(B) 論文・論説

芝 祐順・野口裕之・南風原朝和（1978）語彙理解力測定のための多層適応形テスト　教育心理学研究，*26*，229-238.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjep1953/26/4/26_229/_pdf/-char/ja
Haebara, T. (1979) A method for investigating item bias using Birnbaum's three-parameter logistic model. *Iowa Testing Programs Occasional Paper*, No.25. (M.A. Thesis)

Mayekawa, S., & Haebara, T. (1980) Estimation of the reliability of a test consisting of more than three congeneric parts. *Iowa Testing Programs Occasional Paper*, No.28.

Haebara, T. (1980) Equating logistic ability scales by a weighted least squares method. *Japanese Psychological Research*, *22*, 144-149. https://www.jstage.jst.go.jp/article/psycholres1954/22/3/22_3_144/_pdf/-char/en

Haebara, T. (1981) Least squares method for equating logistic ability scales: A general approach and evaluation. *Iowa Testing Programs Occasional Paper*, No.30. (Ph.D. Thesis)

南風原朝和（1983）授業の目標達成のための評価 授業の研究，*78*，2-5.

Haebara, T. (1983) Some comments on Noguchi's ability scale equating method. 新潟大学教育学部紀要，*24*，109-114.

南風原朝和（1983）米国における試験と選抜の公平性をめぐって サイコロジー，*41*，44-49. https://www.p.u-tokyo.ac.jp/~haebara/PSYCHOLOGY_1983_8.pdf

南風原朝和（1984）学習意欲を高める評価のあり方を求めて 教育にいがた，*116*，6-9.

南風原朝和（1984）テスト理論への個人正答確率に基づくアプローチ　新潟大学教育学部紀要，*26*，21-28.

Haebara, T. (1985) On "Regression between true scores." *Japanese Psychological Research*, *27*, 173-175. https://www.jstage.jst.go.jp/article/psycholres1954/27/3/27_3_173/_pdf/-char/en

南風原朝和（1986）相関係数を用いる研究において被験者数を決めるための簡便な表　教育心理学研究，*34*，155-158. https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjep1953/34/2/34_155/_pdf/-char/ja

南風原朝和（1986）一流高校の下位合格者の入学後の成績―二重の回帰現象の例 *NIIGATA Educational Psychologist*，*3*，265-266.

南風原朝和（1987）テスト得点の尺度について *NIIGATA Educational Psychologist*，*4*，86-91.

南風原朝和・芝 祐順（1987）相関係数および平均値差の解釈のための確率的な指標　教育心理学研究，*35*，259-265. https://www.jstage.jst.go.jp/article/jjep1953/35/3/35_259/_pdf

南風原朝和・青木和彦（1988）S-P 表における注意係数の判定基準の改善の試み　新潟大学教育学部附属教育実践研究指導センター研究紀要，*7*，79-90.

南風原朝和（1988）統計的な見方について *NIIGATA Educational Psychologist*，*5*，93-95.

南風原朝和（1989）統計教育におけるコンピュータの利用 新潟大学情報処理センター年報，*7*，41-45.

南風原朝和（1989）選抜試験の妥当性と“輪切り”効果 *NIIGATA Educational*

Psychologist, *6*, 96-98.
南風原朝和（1990）統計学習者の主観的標本分布 *NIIGATA Educational Psychologist*, *7*, 27-31.
南風原朝和（1990）テスト得点の解釈の妥当性について 学習評価研究，*3*, 29-35.
Abe, Y., Haebara, T., & Hanada, K. (1990) An index for objective evaluation of the soft tissue profile. *International Journal of Adult Orthodontics and Orthognathic Surgery*, *5*, 249-254.
南風原朝和・藤野淳子（1991）子どもはどのような評価方式を望んでいるか―異なる評価方式に対する児童の選好とその関連要因 教育論究，*31*, 1-8.
南風原朝和（1991）測定・評価・統計研究この１年 教育心理学年報，*30*, 91-99.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/arepj1962/30/0/30_91/_pdf/-char/ja
阿部裕子・南風原朝和・森田修一・花田晃治（1994）成長後の下顎骨の位置予測について―縦断的資料を用いた統計的評価 日本矯正歯科学会雑誌，*53*, 77-89.
南風原朝和（1995）教育心理学研究と統計的検定　教育心理学年報，*34*, 122-131.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/arepj1962/34/0/34_122/_pdf/-char/ja
Kuhara-Kojima, K., Hatano, G., Saito, H., & Haebara, T. (1996) Vocalization latencies of skilled and less-skilled comprehenders for words written in Hiragana and Kanji. *Reading Research Quarterly*, *31*, 158-171.
https://ila.onlinelibrary.wiley.com/doi/pdf/10.1598/RRQ.31.2.3
南風原朝和（1997）メタ分析による精神療法の効果研究の統合 精神療法，*23*, 131-136.
小嶋惠子・波多野誼余夫・齋藤洋典・南風原朝和・徳島洋子（1997）読解力上位群と下位群の平仮名と漢字で表記された単語の音読潜時 読書科学，*41*, 67-79.
南風原朝和・小松孝至（1999）発達研究の観点から見た統計―個の発達と集団統計量との関係を中心に 児童心理学の進歩，*38*, 213-233.
南風原朝和・片岡尚子（2000）得点調整に伴う共通科目の重みの変化 大学入試研究ジャーナル，*10*, 49-53.
中畝菜穂子・前川眞一・石塚智一・内田照久・柳井晴夫・村上 隆・南風原朝和（2002）大学入試に関わる選抜資料のあり方について 大学入試研究ジャーナル，*12*, 65-72.
Hakamada-Taguchi, R., Uehara, Y., Haebara, T., Negoro, H., & Toyo-oka, T. (2002) The relationship between changes in normal-range systolic blood pressure and cognitive function in middle-aged healthy women. *Hypertension Research*, *25*, 565-569.
南風原朝和（2002）モデル適合度の目標適合度―観測変数の数を減らすことの是非を中心に　行動計量学，*29*, 160-166.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jbhmk/29/2/29_2_160/_pdf/-char/ja
南風原朝和（2005）共分散構造分析―強力な解析ツールとその使用上の注意　心理学ワールド，*31*, 22-23.
南風原朝和（2007）テストの評価―テストの質の維持と向上のために　人事試験研究，*202*, 2-7.
南風原朝和（2007）学力調査におけるテスト理論の活用―項目反応理論（IRT）　指導と評

価，*53*（11），42-45.
市川伸一・南風原朝和・杉澤武俊・瀬尾美紀子・清河幸子・犬塚美和・村山 航・植坂友理・小林寛子・篠ヶ谷圭太（2009）数学の学力・学習診断力テストCOMPASSの開発 認知科学，*16*，333-347.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jcss/16/3/16_3_333/_pdf/-char/ja
伊藤研一・三木善彦・三木潤子・小林孝雄・南風原朝和（2009）フォーカシングから見た内観療法　内観研究，*15*，49-58.
南風原朝和（2010）個を重視する量的研究の可能性　カウンセリング研究，*43*，303-307.
南風原朝和（2012）尺度の作成・使用と妥当性の検討　教育心理学年報，*51*，213-217.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/arepj/51/0/51_213/_pdf
南風原朝和（2014）分散分析を基礎から見直す―有意性検定による「推測革命」と近年の「統計改革」　基礎心理学研究，*32*，217-222.
https://www.jstage.jst.go.jp/article/psychono/32/2/32_KJ00009351487/_pdf/-char/ja
南風原朝和（2014）有意性検定と効果量推定について―解説的コメント　児童心理学の進歩，*53*，274-278.
南風原朝和（2015）東京大学の体験活動プログラムと 4 ターム制　IDE 現代の高等教育，2015 年 7 月号，14-17.
南風原朝和（2016）高大接続改革の技術的基盤―テスト理論活用の観点から　日本テスト学会誌，*12*，94-99.
南風原朝和（2016）新テストのねらいと予想される帰結　指導と評価，*62*(9)，21-23.
南風原朝和（2017）心理的介入研究の妥当性の向上のために　老年精神医学雑誌，*28*(12)，1342-1347.
南風原朝和（2018）心理統計の新しい展開と今後の統計教育　心理学評論，*61*，142-146.
http://www.p.u-tokyo.ac.jp/~haebara/JPRev61-1.pdf
南風原朝和（2019）大学入試改革の目玉がはらむ問題　IDE現代の高等教育，2019年2-3月号，4-9.
南風原朝和（2019）見失われた記述式の意義―導入の見直しが必要だ　科学，*89*(10)，899-904.
https://www.iwanami.co.jp/kagaku/Kagaku_201910_Haebara-rev.pdf
南風原朝和（2020）大学入試は何を問うべきか―「学力の三要素」を批判的検討 Journalism，2020年3月号，26-33.
https://webronza.asahi.com/journalism/articles/2020031300003.html
南風原朝和（2020）　大学入試改革を「私的に」ふり返る　現代思想，2020年4月号，39-50.
南風原朝和（2021）大学入試改革―迷走への批判を超えて 児童心理学の進歩，*60*，157-178.
南風原朝和（2023）入学者選抜試験としての ESAT-J の公平性と合理性について　季刊教育法，*218*，38-43.
南風原朝和（2024）教育行政の言説は教育的か　新英語教育，2024 年 5 月号，38-39.

(C) 学会発表等

Mayekawa, S., & Haebara, T. (1980) Estimation of the reliability of a test consisting of more than three congeneric parts. Psychometric Society Meeting (Iowa City).

Haebara, T. (1981) Broad-range item calibration by constrained optimization of item parameter transformation. Psychometric Society Meeting (Chapel Hill).

南風原朝和（1983）連結された能力尺度の 1 次元性の指標 日本統計学会第 51 回大会（広島大学）

南風原朝和（1984）潜在特性理論における基本概念の吟味―古典的テスト理論との関連において 日本教育心理学会第 26 回総会（京都大学）
https://www.jstage.jst.go.jp/article/pamjaep/26/0/26_842/_pdf/-char/ja

南風原朝和（1985）相関係数の解釈を中心に　日本教育心理学会第 27 回総会シンポジウム「教育心理学研究における統計的方法再考」（国立教育研究所）
https://www.jstage.jst.go.jp/article/arepj1962/25/0/25_25/_pdf/-char/ja

南風原朝和（1985）共通項目のないテストの潜在尺度間の線形等化法 日本教育心理学会第 27 回総会（国立教育研究所）
https://www.jstage.jst.go.jp/article/pamjaep/27/0/27_760/_pdf/-char/ja

南風原朝和（1988）S-P 表における注意係数が判定基準を超える割合 日本行動計量学会第 16 回大会（千葉大学）

阿部裕子・斉藤 功・深町博臣・沢端喜明・星 隆夫・伊藤 潔・南風原朝和（1989）軟組織側貌の客観的評価のための指標 日本矯正歯科学会第 48 回大会（金沢大学）

Abe, Y., Haebara, T., & Hanada, K. (1990) An aesthetic index of the facial profile for orthodontic applications. 22nd International Congress of Applied Psychology（京都）

南風原朝和・山田浩之（1990）閾値線形損失関数に基づく到達基準の設定 日本教育心理学会第 32 回総会（大阪大学）
https://www.jstage.jst.go.jp/article/pamjaep/32/0/32_459/_pdf/-char/ja

南風原朝和（1991）有意性検定からの脱却は可能か 日本教育心理学会第 33 回総会小講演（上越教育大学）
https://www.jstage.jst.go.jp/article/pamjaep/33/0/33_L17/_pdf

南風原朝和（1991）因子分析を用いた項目分類における主観的判断データの利用　日本教育心理学会第 33 回総会（上越教育大学）
https://www.jstage.jst.go.jp/article/pamjaep/33/0/33_779/_pdf/-char/ja

南風原朝和（1992）ベイズの定理の水槽表示 日本行動計量学会第 20 回大会（東京工業大学）

南風原朝和・北爪葉子・横山市代（1992）不確実性の評価における非対称性 日本教育心理学会第 34 回総会（信州大学）
https://www.jstage.jst.go.jp/article/pamjaep/34/0/34_411/_pdf/-char/ja

阿部裕子・南風原朝和・花田晃治（1993）下顎骨の成長予測について 平成 5 年度新潟歯学会第 1 回例会（新潟大学）

南風原朝和（1993）シンポジウム「教育心理学の諸領域からみた統計的データ解析の課題」（指定討論：教育統計学の立場から） 日本教育心理学会第 35 回総会（名古屋大学）
https://www.jstage.jst.go.jp/article/arepj1962/33/0/33_8/_pdf/-char/ja

南風原朝和・岡田努（1993）水槽表示を用いたベイズの定理の学習用および教材作成用プログラム 日本教育心理学会第 35 回総会（名古屋大学）
https://www.jstage.jst.go.jp/article/pamjaep/35/0/35_49/_pdf/-char/ja

阿部裕子・南風原朝和・花田晃治（1993）成長後の下顎骨の位置について―縦断的資料を用いての統計学的評価 日本矯正歯科学会第 52 回大会（鹿児島大学）

南風原朝和（1994）一般化可能性の評価と有意性検定 日本心理学会第 58 回大会シンポジウム「心理学の方法論見直し―新しい表現法の可能性をめぐって」（日本大学）

南風原朝和（1994）ワークショップ「「新しいデータ表現」をめぐるバズ・セッション」（話題提供） 日本心理学会第 58 回大会（日本大学）

南風原朝和（1995）統計学についての素朴理論 日本心理学会第 59 回大会シンポジウム「社会行動についての素朴理論・素人理論」（琉球大学）

南風原朝和（1995）統計的検定は心理学研究に何をもたらしたか 日本心理学会第 58 回大会ワークショップ「心理学研究の自己評価（2）」（琉球大学）

南風原朝和（1996）シンポジウム「テストの理論家と実際家とのコミュニケーションギャップ解消を目指して」（指定討論） 日本心理学会第 60 回大会（立教大学）

南風原朝和（1997）入試の理念と得点調整 日本行動計量学会第 25 回大会（東北大学）

南風原朝和（1997）信頼区間による仮説の検証 日本行動計量学会第 25 回大会（東北大学）

栗田佳代子・南風原朝和（1997） 個別のデータ収集状況に合わせた頑健性及び検出力の推定プログラムの開発 日本教育心理学会第 39 回総会（広島大学）
https://www.jstage.jst.go.jp/article/pamjaep/39/0/39_364/_pdf/-char/ja

南風原朝和（1997）シンポジウム「統計的データ解析のガイドラインをめぐって」（指定討論） 日本教育心理学会第 39 回総会（広島大学）
https://www.jstage.jst.go.jp/article/arepj1962/37/0/37_13/_pdf/-char/ja

南風原朝和（1998）特別セッション「共分散構造分析」（指定討論：実践の観点から見た因果モデル） 日本行動計量学会第 26 回大会（立教大学）

南風原朝和（1999）分離分割方式の評価―東京大学における入試追跡調査をふまえて 国立大学入学者選抜研究連絡協議会第 20 回大会（東京大学）

南風原朝和・片岡尚子（1999）得点調整に伴う共通科目の重みの変化 国立大学入学者選抜研究連絡協議会第 20 回大会（東京大学）

南風原朝和（1999）シンポジウム「教育心理学研究における質問紙尺度の作成および利用に関する諸問題」（指定討論） 日本教育心理学会第 41 回総会（兵庫教育大学・甲南女子大学）
https://www.jstage.jst.go.jp/article/arepj1962/39/0/39_4/_pdf/-char/ja

南風原朝和（1999）心理臨床研究と統計　日本心理臨床学会第 18 回大会シンポジウム「心理臨床研究法における諸問題―事例・実験・調査・統計をめぐって」（文教大学）

南風原朝和（2000）講演と討論「共分散構造分析は，パス解析，因子分析，分散分析のすべてにとって代わるのか？」（指定討論）　日本行動計量学会第 3 回春の合宿セミナー（愛知学院大学）

南風原朝和（2000）心理学の観点から統計学を相対化し，統計学の視点から心理学的洞察を得る　日本教育心理学会第 42 回総会シンポジウム「心理学における統計教育の在り方：What & How?」（東京大学）
https://www.jstage.jst.go.jp/article/arepj1962/40/0/40_41/_pdf/-char/ja

南風原朝和（2000）シンポジウム「教育心理学における新しい統計方法の役割―DOs and DON'Ts を超えて」（指定討論）　日本教育心理学会第 42 回総会（東京大学）
https://www.jstage.jst.go.jp/article/pamjaep/42/0/42_S8_2/_pdf/-char/ja

前川眞一・村上 隆・南風原朝和・石塚智一・中畝菜穂子・内田照久・柳井晴夫（2001）大学入試に関わる選抜資料のあり方について　国立大学入学者選抜研究連絡協議会第22回大会（東京工業大学）

Kurita, K., & Haebara, T. (2001) Evaluation of a corrected *t* statistic for nonindependent observations by using the LOCALSIM software. International Meeting of the Psychometric Society（大阪）

南風原朝和（2001）実験データに基づく仮説評価とその教授法をめぐって　日本行動計量学会第 29 回大会ワークショップ「実験データからの仮説評価」（甲子園大学）

南風原朝和（2003）研究結果をどのように表現し，蓄積していったらよいのか―“効果の大きさ”の指標に焦点をあてて　日本心理学会第 67 回大会シンポジウム「心理学のためになる統計学を考える」（東京大学）

南風原朝和（2003）ワークショップ「共分散構造分析の最新の応用的話題」（指定討論）　日本心理学会第67回大会（東京大学）

南風原朝和（2004）統計の「知」の広がりと深まり　日本心理学会第68回大会シンポジウム「臨床の「知」・統計の「知」・教育の「知」」（関西大学）

南風原朝和（2004）ワークショップ「質的研究の仕方―研究方法をどう指導するか？」（指定討論：量的研究法の指導との関係で）　日本心理学会第68回大会（関西大学）

南風原朝和（2004）シンポジウム「個人内変化・共変データの解析」（指定討論）　日本教育心理学会第46回総会（富山大学）
https://www.jstage.jst.go.jp/article/pamjaep/46/0/46_S80/_pdf/-char/ja

南風原朝和（2005）テストの作成と利用の現状　日本テスト学会第3回大会シンポジウム「心理テストの効用をめぐって―21世紀を展望する」（早稲田大学）

南風原朝和（2005）量的研究の側から質的研究との連携を考える　日本心理学会第69回大会ワークショップ「質的研究と量的研究の融合」（慶応義塾大学）

南風原朝和（2005）個人内変動と個人間変動―統計学的観点からの考察　日本社会心理学会第46回大会ワークショップ「適切な変動因は何か―心理学的研究において個人内変動に注目することの意味」（関西学院大学）

南風原朝和（2006）階層的線形モデルによる個と集団のデータの分析　日本グループ・ダイナミックス学会第53回大会ワークショップ「HLM（階層的線形モデル）を用いた個と集団のデータの分析」（武蔵野大学）

南風原朝和（2006）シンポジウム「量的分析と質的分析―統合を目指した研究の実際」（指定討論：量的研究の側からみた連携への鍵）　日本教育心理学会第48回総会（岡山大学）
https://www.jstage.jst.go.jp/article/pamjaep/48/0/48_S36/_pdf/-char/ja

南風原朝和（2006）シンポジウム「テストの妥当性の概念および検証方法の新たな展開」（指定討論）　日本テスト学会公開シンポジウム（東京大学）

南風原朝和（2006）階層モデルによる個人内共変関係へのアプローチ　日本心理学会第70回大会シンポジウム「因果をとらえる新しい統計的方法とは―階層モデル，傾向スコア，構造方程式モデリング」（九州大学）

南風原朝和（2007）シンポジウム「はかれるもの・はかれないもの―医療系における能力評価のあり方をめぐって」（指定討論）　日本テスト学会第5回大会（聖路加大学）

南風原朝和（2007）シンポジウム「文系学生に対する心理統計教育の実践」（指定討論）　日本教育心理学会第49回総会（文教大学）
https://www.jstage.jst.go.jp/article/pamjaep/49/0/49_S26/_pdf/-char/ja

伊藤研一・三木善彦・三木潤子・小林孝雄・南風原朝和（2008）フォーカシング日常化傾向から見た集中内観　第31回日本内観学会大会（沖縄）

南風原朝和（2008）シンポジウム「PAC分析を語る（1）：質的分析と量的分析の統合について」（指定討論）　日本教育心理学会第50回総会（東京学芸大学）
https://www.jstage.jst.go.jp/article/pamjaep/50/0/50_S132/_pdf/-char/ja

南風原朝和（2009）ワークショップ「やはり，検定力分析はすべきです！」（指定討論）　日本心理学会第73回大会（立命館大学）

南風原朝和（2009）個を重視する量的研究の可能性　日本カウンセリング学会公開シンポジウム「カウンセリング研究におけるエビデンスを求めて」（立正大学）

南風原朝和（2010）シンポジウム「教育心理学研究に役立つ構造方程式モデリング」（指定討論）　日本教育心理学会第52回総会（早稲田大学）

南風原朝和（2010）「個」の心理学と「集団」の統計学―乖離を埋める統計教育のあり方　日本心理学会第74回大会シンポジウム「統計学と心理学の関わりと隔たり」（大阪大学）

南風原朝和（2010）企画委員セッション「ソーシャルキャピタルとマルチレベル分析」（指定討論）　日本行動計量学会第38回大会（埼玉大学）

南風原朝和（2011）尺度の作成・使用と妥当性の検討　日本教育心理学会第53回総会チュートリアルセミナー（札幌）
https://www.jstage.jst.go.jp/article/arepj/51/0/51_213/_pdf

南風原朝和（2011）企画セッション「教育測定としての入学試験」（指定討論）　日本テスト学会第9回大会（岡山大学）

南風原朝和（2012）臨床心理学の量的研究法入門―研究立案のためのガイド　日本心理臨床学会「現代臨床心理学の必須技能」ワークショップ（東京大学）

南風原朝和（2012）チュートリアルセミナー「心理学研究における効果量の活用と報告―APAの指針をふまえて」（指定討論）　日本教育心理学会第54回総会（琉球大学）
https://www.jstage.jst.go.jp/article/arepj/52/0/52_234/_pdf/-char/ja

南風原朝和（2013）分散分析を基礎から見直す　日本基礎心理学会2013年度第1回基礎心理学フォーラム「閉じられたANOVAとその先―心理統計の現状と将来を考える」（慶応義塾大学）

南風原朝和（2013）統計的検定への過度の依拠からの脱却を目指して―効果量や信頼区間などの活用のあり方　日本社会心理学会第54回大会ワークショップ（沖縄国際大学）

南風原朝和（2014）入試選抜の測定問題　大学入試センターシンポジウム2014「大学入試の日本的風土は変えられるか」（東京工業大学）
http://www.dnc.ac.jp/albums/abm.php?f=abm00004972.pdf&n=ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ2014報告書Web.pdf

南風原朝和（2014）IRT尺度の等化：1980-2014　第8回「日本テスト学会賞」記念講演会（法政大学）

南風原朝和（2015）シンポジウム「研究法におけるルーチンの見直し」（指定討論）　日本教育心理学会第57回総会（新潟大学）
https://www.jstage.jst.go.jp/article/arepj/55/0/55_234/_pdf/-char/ja

南風原朝和（2015）シンポジウム「障害のあるテスト受験者への合理的配慮とエビデンス」（指定討論）　日本教育心理学会第57回総会（新潟大学）
https://www.jstage.jst.go.jp/article/arepj/55/0/55_304/_pdf

南風原朝和（2015）高大接続改革の技術的基盤―テスト理論活用の観点から　日本テスト学会第13回大会公開シンポジウム（関西大学）

南風原朝和（2015）シンポジウム「ベイズ統計学による「研究仮説が正しい確率」の計算―ｐ値からの卒業」（指定討論：伝統的統計学との統合的理解）　日本心理学会第79回大会（名古屋大学）

南風原朝和（2016）企画討論会「入試研究と入試改革」（指定討論）　平成28年度全国大学入学者選抜研究連絡協議会大会（第11回）（立命館大学）
https://www.dnc.ac.jp/albums/abm00011189.pdf

南風原朝和（2016）企画セッション「21世紀型スキルの学習環境と評価のありかた」（指定討論）　日本テスト学会第14回大会（電気通信大学）

南風原朝和（2018）新テストのゆくえ　国立大学アドミッションセンター連絡会議第16回総会（電気通信大学）

南風原朝和（2019）シンポジウム「心理統計で何を教えるべきか―頻度主義・ベイズ主義の対立を超えて」（指定討論）　日本心理学会第83回大会（立命館大学）

南風原朝和（2019）シンポジウム「縦断的な視点に基づく教授・学習研究」（指定討論）日本教育心理学会第61回総会（日本大学）

南風原朝和（2020）大学入試センターシンポジウム2020「「センター試験」をふり返る」（指定討論）

南風原朝和（2023）シンポジウム「高等学校における観点別評価の導入と大学入試の多様化―教育測定論的観点からのアプローチ」（指定討論）日本教育心理学会第65回総会

南風原朝和（2024）思考力の評価を考える―「その場で考えさせる」囚われからの解放　日本教育心理学会研究委員会企画シンポジウム「「思考力・判断力・表現力」を捉える教育心理学の視点―「思考力」の育成と評価に焦点を当てて」

南風原朝和（2024）日本教育心理学会公開シンポジウム「大学入試における公平性の問題をひも解く―心理学と社会学からのアプローチ」（指定討論）

南風原朝和（2024）シンポジウム「「大学入学共通テスト」の研究」（指定討論）　大学入試学会第 1 回創立記念大会（東北大学）

南風原朝和（2025）日本教育心理学会公開シンポジウム「学習評価はどうあるべきか―教育心理学から考える」（指定討論）

(D) 報告書・辞典・書評・記事・講演動画等

南風原朝和（1982）テストの公平さの統計的分析　入試成績の解析に関する統計数理とデータ解析研究集会報告集，pp. 21-22.

放送大学・放送教育開発センター（1986）学生の基本属性と履修状況―全数調査の集計結果（pp. 15-28），学生の属性と単位認定試験の成績との関係（別冊 pp. 3-11）　第 1 回放送大学学生調査報告書

東　洋・梅本堯夫・芝　祐順・梶田叡一（編）（1988）現代教育評価事典　金子書房（「信頼性」，「妥当性」など 21 項目を執筆）

南風原朝和（1993）法学部および経済学部における前期日程入学者と後期日程入学者の特性の比較　科研費報告書「大学入学者の特性と選抜方法との関連についての追跡調査研究」，pp. 145-147.

南風原朝和（1993）一方的な業者テスト廃止―「公的テスト」で何変わる？（インタビュー記事）　朝日新聞（新潟版），1993 年 5 月 31 日朝刊

奥田真丈・河野重男（監修）（1993）現代学校教育大事典　ぎょうせい（「尺度」，「心理学的測定」など 11 項目を執筆）

南風原朝和（1994）小論文試験における採点者間の評価の一貫性　平成 5 年度新潟大学入学者選抜方法研究委員会報告書，pp. 166-174.

南風原朝和（1994）書評：宮埜壽夫著「心理学のためのデータ解析法」（培風館）　行動計量学，*21*，108.

柴山　直・斎藤大輔・南風原朝和（1995）学生による講義評価に関する基礎調査の報告―新潟大学教育学部における調査結果より　新潟大学教育学部附属教育実践研究指導センター研究紀要，*14*，1-13.

南風原朝和（1995）教育評価データ解析　指導と評価，*41*（8），62-63；*41*（9），62-63.

南風原朝和（1996）千野論文，重光ほか論文，平野論文へのコメント　科研費報告書「多変量データ解析の利用による大学入試データ解析システムの開発」，p. 121.

山内香奈・南風原朝和（1997）多相 Rasch モデルによる論文評価データの解析　科研費報告書「多変量データ解析の利用による大学入試データ解析システムの開発」，pp. 41-46.

日本保健医療行動科学会（監修）（1999）保健医療行動科学事典　メヂカルフレンド社

（「メタ分析」など 3 項目を執筆）
南風原朝和（1999）書評：繁桝算男・柳井晴夫・森 敏昭（編）「Q&A で知る統計データ解析―DOs and DON'Ts」（サイエンス社） 行動計量学，*26*，134-135.
南風原朝和（2000）個人正答確率に基づく局所独立性の概念の明確化―実験的独立性および一次元性との関係を中心に
http://www.p.u-tokyo.ac.jp/~haebara/local_ind/
南風原朝和（2001）統計解析の原理の教育　日本行動計量学会会報第 89 号
南風原朝和（2001）書評：柳井晴夫・前川眞一（編）「大学入試データの解析―理論と方法」（現代数学社） 行動計量学，*28*，20-21.
山田剛史・南風原朝和（2003）試験の得点等化のための教育測定学的基礎　科研費報告書「我が国の公的試験における得点等化の導入に向けた心理・教育測定的研究」，pp.35-51.
杉澤武俊・前川眞一・南風原朝和（2003）得点等化機能を備えた試験成績処理システムの開発　科研費報告書「我が国の公的試験における得点等化の導入に向けた心理・教育測定的研究」，pp.53-65.
市川伸一・南風原朝和・杉澤武俊・瀬尾美紀子・犬塚美和・小林寛子・植坂友理（2004）数学力診断テスト“COMPASS”の開発　21世紀COEプログラム「基礎学力育成システムの再構築」中間レビュー　東京大学大学院教育学研究科基礎学力研究開発センター，pp.21-48.
南風原朝和（2005）基礎統計の統合的理解　日本行動計量学会第8回春の合宿セミナー講演資料集，pp.3-16.
南風原朝和（2005）国際学力調査PISAにおける基礎学力の概念　東京大学基礎学力研究開発センターWorking Paper，Vol.16「「基礎学力」の再検討」，pp.44-50.
辰野千壽・石田恒好・北尾倫彦（監修）（2006）教育評価事典　図書文化（「妥当性」の項目を執筆）
南風原朝和（2008）調査・測定の統計的基礎　日本行動計量学会第11回春の合宿セミナー講演資料集，pp.1-11.
南風原朝和（2009）心理統計学の演習書をつくる―その目的と課題　書斎の窓，No.589，pp.60-63.
http://yuhikaku-nibu.txt-nifty.com/blog/files/prof_haebara_mado0911.pdf
南風原朝和（2010）学びの質の保障と検証―東大附属における「学びの共同体」の振り返りを中心に　東京大学大学院教育学研究科学校教育高度化センターシンポジウム「学びと育ちを保障する学校・教師」報告書，pp.15-23.
南風原朝和（2011）書評：大学英語教育学会（監修）石川祥一・西田 正・斉田智里（編）「テスティングと評価―4 技能の測定から大学入試まで」（大修館書店） 英語教育，*60*（4），90.
松原 望・美添泰人（編集）（2011）統計応用の百科事典　丸善（「心理実験と統計」など 3 項目を執筆）
藤永 保（監修）（2013）最新心理学事典　平凡社（「統計的推論」の項（pp.551-555）を執筆）

南風原朝和（2015）入試選抜の測定問題（講演録）　独立行政法人大学入試センター入学者選抜研究に関する調査室報告書2『大学入試センターシンポジウム2014　大学入試の日本的風土は変えられるか』，61-74.
http://www.dnc.ac.jp/albums/abm.php?f=abm00004972.pdf&n=ｼﾝﾎﾟｼﾞｳﾑ2014報告書Web.pdf
南風原朝和（2015）来年から実施の推薦入試では“突き抜けた”才能を採りたい（インタビュー記事）　週刊ダイヤモンド，2015年8月22日号，p.37.
南風原朝和（2016）求む！探求心あふれる人材（インタビュー記事）　内外教育，2016年1月12日号，2-4.
南風原朝和（2016）大学入試改革―「新テスト」はどこに向かうのか？（インタビュー記事）　サンデー毎日，2016年3月27日号，124-127.
南風原朝和（2016）2段階選抜の試験方式に問題はないのですか？（質疑応答欄の回答）　週刊日本医事新報，2016年5月3週号，p.65.
http://mol.medicalonline.jp/library/journal/download?GoodsID=af9mdcla/2016/004804/036&name=0065-0065j&UserID=133.11.201.8
南風原朝和（2016）東大が入試を通じて日本の高校生全員に伝えたい思いとは（インタビュー記事）　高校生新聞，2016年6月号
http://www.koukouseishinbun.jp/articles/-/57
南風原朝和（2016）オールラウンダーに加え突き抜けた才能を歓迎する新しい入試制度が始動（インタビュー記事）　日経マガジン教育特集号，2016年6月30日，3-5.
http://adnet.nikkei.co.jp/e/img/insertedEventImage.asp?e=02210&disptype=1&eventitemid=0014&imageid=00001
南風原朝和（(2016）システムとしての大学入学者選抜（講演録）　Y-SAPIX Journal，2016年8・9月号，18-21.
南風原朝和（2016）東京大学の入試改革と国の入試改革プラン（講演録）　Campus Life，*48*，2016年9月号，19-20.
http://www.univcoop.or.jp/about/life/vol48-02.html
南風原朝和（2016）共通試験と個別試験に求められるもの―測定論の観点から（講演録）　第24回東北大学高等教育フォーラム　新時代の大学教育を考える[13]報告書『大学入試における共通試験の役割―センター試験の評価と新制度の課題』，7-23.
http://www.adrec.ihe.tohoku.ac.jp/wp/wp-content/uploads/2016/11/IEHE-TOHOKU-Report-68.pdf
南風原朝和（2016）大学入試新テスト記述式案―高校国語ゆがめる恐れ　日本経済新聞，2016年11月28日朝刊
http://www.nikkei.com/article/DGKKZO09986080W6A121C1CK8000/
南風原朝和（2016）センター試験は本当に不要か？（インタビュー記事）　月刊私塾界，2016年12月号，58-61.
南風原朝和（2016）高校の国語教育ゆがむ恐れ―開始時期こだわらず検証を（インタビュー記事），AERA，2016年12月19日号，23-24.
https://dot.asahi.com/aera/2016121400209.html

南風原朝和（2017）大学新テスト方針案公表―記述式・英語委託熟考を　日本経済新聞，2017年5月22日朝刊
http://www.nikkei.com/article/DGKKZO16614060Z10C17A5CK8000/
南風原朝和（2017）真価問われる高・大・新テスト改革（インタビュー記事）　産経新聞，2017年7月19日朝刊
http://www.sankei.com/life/news/170719/lif1707190002-n1.html
南風原朝和（2017）テストの科学から見る大学入試改革（講演動画）　東京大学オープンキャンパス模擬講義
https://todai.tv/contents-list/2017FY/open-campus-lecture2017/2017-09
南風原朝和（2017）大学入学共通テストの課題　NHKテレビ「視点・論点」，2017年9月1日放送
http://www.nhk.or.jp/kaisetsu-blog/400/278834.html
南風原朝和（2017）テスト理論から見た大学入試改革論　サイナビ！ブックレット，Vol.18　ちとせプレス
http://chitosepress.com/2017/10/27/3216/
南風原朝和（2017）新「大学入学共通テスト」どう見る（インタビュー記事）　朝日新聞，2017年12月10日朝刊
https://www.asahi.com/articles/DA3S13267633.html
南風原朝和（2018）深い理解伴う学びを（インタビュー記事）　沖縄タイムス，2018年1月16日朝刊
http://www.okinawatimes.co.jp/articles/-/195838
南風原朝和（2018）大学入学共通テスト―思考力測る試みの成否は（インタビュー記事）　東京大学新聞，2018年1月30日
南風原朝和（2018）大学入学共通テストに向けて求められる論点（講演録）　月刊私塾界，2018年2月号，52-53，56-59.
南風原朝和・安河内哲也（2018）入試に「話す」は必要か（対談）　AERA，2018年3月5日号，32-33.
https://dot.asahi.com/aera/2018030100043.html
東京大学高大接続研究開発センター（2018）シンポジウム報告書「大学入学者選抜における英語試験のあり方をめぐって」
https://www.ct.u-tokyo.ac.jp/wp-content/uploads/2021/11/koudai-sympo2018-report.pdf
南風原朝和（2018）入試改革で英語民間活用―運用に不安、再検討を　日本経済新聞，2018年4月16日朝刊
https://www.nikkei.com/article/DGKKZO29359260T10C18A4CK8000/
南風原朝和（2018）高大接続改革の縺れ（講演動画）　東京大学公開講座「縺れ」
https://todai.tv/contents-list/2018FY/2018autumn/05
南風原朝和（2019）英語民間試験の導入－粗い制度設計、「被害」なくせ　日本経済新聞，2019年1月14日朝刊
https://www.nikkei.com/article/DGXMZO39911290R10C19A1CK8000/

南風原朝和（2019）シンポジウム「CEFRと入学試験をめぐって」（指定討論・講演動画）国際研究集会2019「CEFRの理念と現実」（京都大学）
https://ocw.kyoto-u.ac.jp/course/847/?video_id=8204
東京大学高大接続研究開発センター（2019）シンポジウム報告書「大学入学者選抜における英語試験のあり方をめぐって」
https://www.ct.u-tokyo.ac.jp/wp-content/uploads/2021/11/koudai-sympo2019-report.pdf
南風原朝和（2019）大学入学共通テストへの英語民間試験の導入をめぐって（講演録）公益財団法人中央教育研究所研究報告，No.94，8-26.
http://www.chu-ken.jp/pdf/kanko94.pdf
南風原朝和（2019）書評：繁桝算男（編）「新しい時代の大学入試」（金子書房） 日本テスト学会誌，*15*，168-169.
南風原朝和（2019）民間試験の活用，大学は見直しを（インタビュー記事） 日本経済新聞，2019年8月30日電子版
https://www.nikkei.com/article/DGXMZO49098100Y9A820C1000000/
南風原朝和（2019）大学教育と高大接続の課題―ミネルバ大学からの示唆をも踏まえ（講演動画） 第4回大学教育イノベーションフォーラム（芝浦工業大学）
https://www.heij.jp/videos/forumrec4
南風原朝和（2019）共通テストの記述式問題－国・数，急ぎ見直しを 日本経済新聞，2019年11月18日朝刊
https://www.nikkei.com/article/DGXMZO52216420V11C19A1CK8000/
南風原朝和（2019）英語教育改革の行方（4）（会見動画） 日本記者クラブ
https://www.jnpc.or.jp/archive/conferences/35549/report
南風原朝和（2019）英語民間試験，検討のポイントは（インタビュー記事） 朝日新聞，2019年12月3日朝刊
https://www.asahi.com/articles/DA3S14279905.html
南風原朝和（2019）【大学最前線 この人に聞く】かくして英語民間試験・国数記述式問題導入は自滅した（上・下）（インタビュー記事） 産経ニュース，2019 年 12 月 19 日，20 日
https://www.sankei.com/life/news/191219/lif1912190008-n1.html
https://www.sankei.com/life/news/191220/lif1912200004-n1.html
南風原朝和・今井むつみ（2020）現場を惑わす曖昧な改変は止めよ（対談） 中央公論，2020年2月号，69-77.
https://headlines.yahoo.co.jp/article?a=20200128-00010001-chuokou-pol
南風原朝和（2020）何を測る議論不十分，受験で４技能育成は誤り（インタビュー記事） 新潟日報，2020年1月21日朝刊
https://nippo-kyouiku.com/news/399/
https://www.niigata-nippo.co.jp/feature/kawaru-manabi/series1/20200204522805.html
南風原朝和・羽藤由美・紅野謙介（2020）大学入試改革が抱える課題―21年共通テスト

「待った」 AERA, 2020年2月3日号, 62-64.
https://dot.asahi.com/aera/2020011000083.html
https://dot.asahi.com/aera/2020012700005.html
https://dot.asahi.com/aera/2020012900029.html
https://dot.asahi.com/aera/2020013000024.html
南風原朝和（2020）来年の「大学入学共通テスト」方針―「バランスの悪い飾り取れた」（インタビュー記事） 東京新聞, 2020年1月30日朝刊
https://www.tokyo-np.co.jp/article/national/list/202001/CK2020013002000140.html
南風原朝和（2020）「知識偏重脱却」の言葉だけが躍る―砂上の楼閣にも似た大学入試改革（インタビュー記事） サンデー毎日, 2020年3月22日号, p.133.
南風原朝和（2020）入試改革―私はこう考える！<8> 大学ランキング2021年度 朝日新聞出版, pp.50-51.
南風原朝和（2020）コロナでどうなる大学入試―大学や入試センターの対応には限界, 「思考力評価」が足かせに（インタビュー記事） 朝日新聞EduA, 2020年5月29日電子版
https://www.asahi.com/edua/article/13410247
南風原朝和（2020）この人をたずねて―南風原朝和氏（インタビュー記事） 心理学ワールド, *90*, 36-37.
https://psych.or.jp/publication/world090/pw16
鈴木 寛・中村高康・南風原朝和・杷野真弓（2020）ROJE関東教育フォーラム『どうなる？大学入試～改革延期の今、何が必要か～』（パネルディスカッション：動画付き）
https://edupedia.jp/archives/26229
https://youtu.be/u5cWwmH7QWs
南風原朝和（2020）コロナ対応の共通テストー「第2日程」公平性損なう 日本経済新聞, 2020年7月27日朝刊
https://www.nikkei.com/article/DGKKZO61909370U0A720C2CK8000/
南風原朝和（2020）高校入学から半世紀―学びのふり返りと後輩へのエール（講演動画）沖縄県立第二中学校・那覇高等学校創立110周年記念講演
https://www.youtube.com/watch?v=XpqR1QuvC8Q
南風原朝和（2019-2021）言わせて大学入試改革（隔月で連載のコラム） 琉球新報, 2019年10月25日, 12月27日, 2020年2月28日, 4月24日, 6月26日, 8月28日, 10月23日, 12月25日, 2021年2月26日
http://www.p.u-tokyo.ac.jp/~haebara/RyukyuShimpo2019.10-2021.2.pdf
南風原朝和（2021）書評：野入直美「沖縄－奄美の境界変動と人の移動」（みずき書林） 沖縄タイムス, 2021年4月3日朝刊
南風原朝和（2021）入試改革見送り, 残された課題（インタビュー記事） 朝日新聞, 2021年8月9日朝刊
https://www.asahi.com/articles/DA3S15004160.html
日本テスト学会（2021）公開シンポジウム「大学入試の「英語」はどこに向かうのか」

（講演動画）
http://www.jartest.jp/symposium19.html
南風原朝和（2021）「知識偏重」という思い違い　試験と研修，2021年11月号，巻頭言
南風原朝和（2022）書評：西郡 大（編）「大学入試の公平性・公正性」（金子書房）　日本テスト学会誌，*18*，132-133.
南風原朝和（2022）適性検査のルーツ④「適性検査は学力検査と何が違うのか」（インタビュー記事）　朝日新聞EduA，2022年11月11日電子版
https://www.asahi.com/edua/article/14757658
南風原朝和（2023）「測りたい力」の全貌は見えたか―3年目の共通テスト　専門家の見方①「受験生にも出題者にもつらい問題」（インタビュー記事）　朝日新聞EduA，2023年2月3日電子版
https://www.asahi.com/edua/article/14828194